

# 経営比較分析表（平成28年度決算）

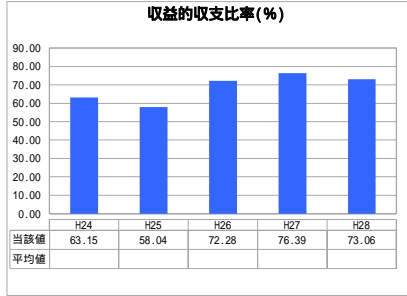
佐賀県 糟野市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	23.75	100.00	2,700

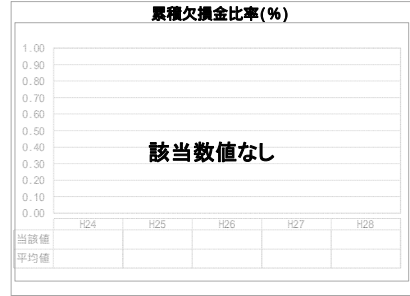
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
27,020	126.41	213.75
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
6,364	2.79	2,281.00

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
【】 平成28年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



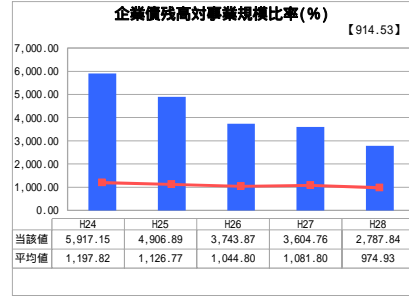
「単年度の収支」



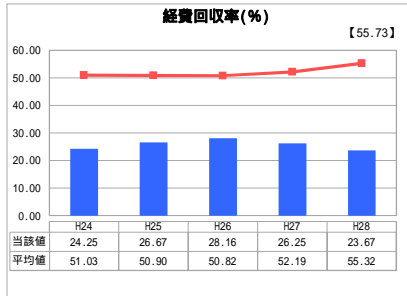
「累積欠損」



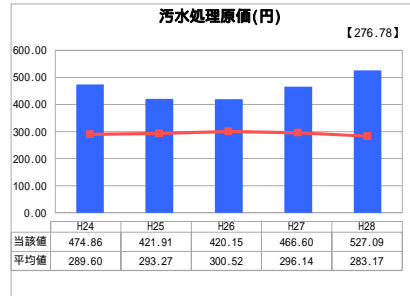
「支払能力」



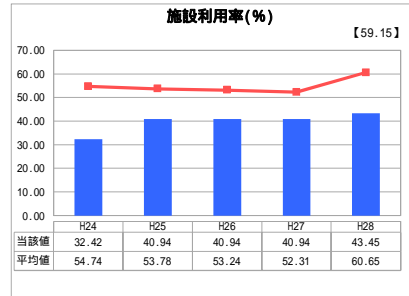
「債務残高」



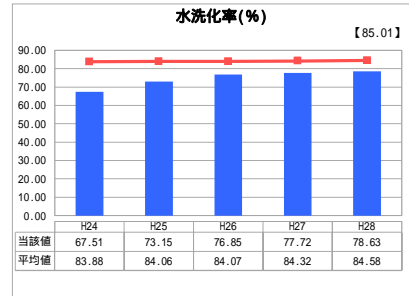
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

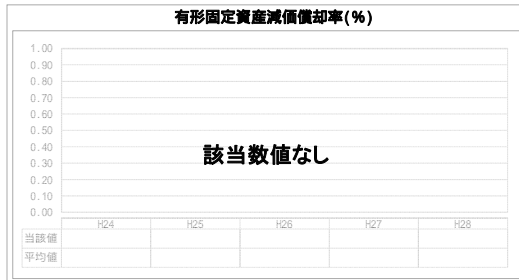


「施設の効率性」

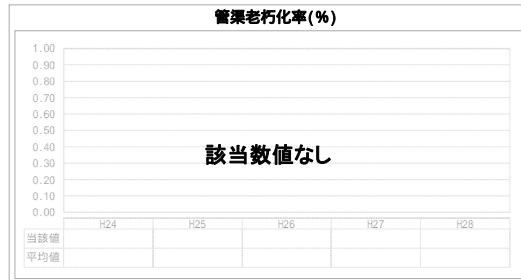


「使用料対象の捕捉」

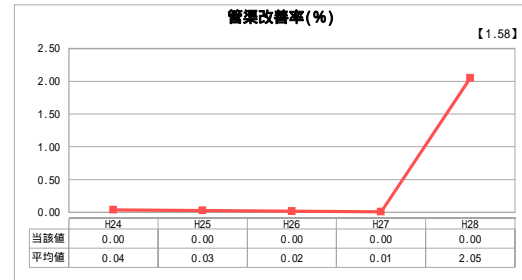
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率  
指標は、昨年より低く、H28年度は73.06%となっており、経費回収率は赤字である。経費回収については、使用料以外の収入(一般会計繰入金)に依存しているため、料金の見直しも含め経営改善を図っていく。

企業債残高対事業規模比率  
料金収入に対する企業債残高は、受益者が分散している地理的要因や処理場施設が点在している事により、建設コストが高いため、類似団体より著しく高い値で推移している。料金の見直しと加入者の増加による収入の増加が必要である。

経費回収率  
使用料で回収すべき経費についても、受益者が分散している地理的要因や、人口減による使用料の伸び悩みの為、類似団体の平均より著しく低くなっている。料金の見直し等による適正な使用料収入の確保が必要とされる。

汚水処理原価  
汚水処理に要した費用については、受益者が分散している地理的要因により、類似団体より高く推移しており、施設の効率化を高めることが必要とされる。

施設利用率  
指標は、受益者が分散している地理的要因や処理場施設が点在している為、平均より低く推移している。4箇所ある処理場の統合を含め、施設の効率を高めていくための検討が必要である。

水洗化率  
指標は、受益者が分散している地理的要因や人口減等により接続戸数の伸び悩みの為、平均値を下回っている。今後も普及拡大に向けた広報等を行うことが必要である。

### 2. 老朽化の状況について

平成5年より整備を開始しており、管渠等の老朽化はまだ発生していない。

## 全体総括

現在、農業集落排水と公共下水道の料金体系が異なるため、料金体系を統一する予定である。また、農業集落排水は処理場が4箇所あり、汚水処理施設の効率化の為、処理場の統合等も検討している。今後の適正な使用料収入の確保、汚水処理費の削減等により、経営の改善を見込む。

法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。